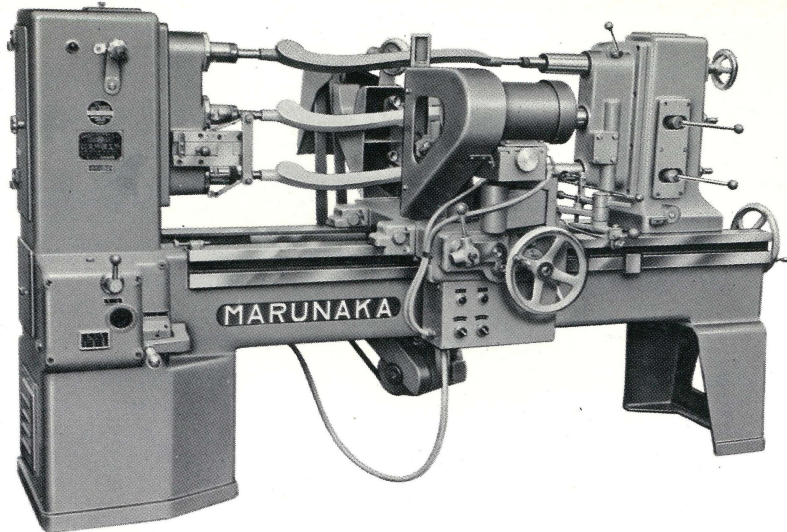




LPS-218A



LPS-218A MARUNAKA'S COPYING LATHE

This production machine has been developed to its high efficiency under the devoted experiments of MARUNAKA's technical department, which is considered one of the most moderns of the world. It combines economy with the simplicity of operation.

VASIED USES:

This machine has come to be developed to the wooden products with frequent irregular curves such as wooden shoe last and like that which require many varieties and accuracy.

After the long years experiments with much renovation, MARUNAKA COPYING LATHE serve your work with high efficiency as well as high accuracy.

LPS-218A 倣型旋盤

本機械は不規則な形状の木製品の製造に使用されるもので、特に靴木型の様に変化と正確さを要求されるものを対象にして製作されたものです。多年に亘る研究により従来のものに比して単純な操作で正確且経済的高能率をあげることが出来ます。

機体上部にモデルを、下部二軸に材料をセットし一つのモデルで対のものを、或は同一のものを二ヶ同時に作ることが出来ます。セットされた位置で廻転する材料に対して前後方向に水平に揺動するカッターが左から右へ移動しながらモデルに倣って所定の形に切削します。

材料の廻転は毎分20~60廻転の範囲で無段に変速します。材料の一廻転に対する送りの量は1.4, 2.1, 2.8と5.6, 8.4, 11.2mmの六段に変速出来ます。1.2~2.8mm迄は仕上削りを、5.6~11.2mm迄は荒削りを対象とします。

モデルに対する製品の寸法は、モデルディスクの移動によって±10mm均等肉付も出来るようになっております。

カッターヘッドは100φ~150φの間で適当なものを選ぶことが出来ます。モータープーリーの交換により周速度は40~50米/秒の範囲で使用します。カッターヘッドは完全にバランスをとってありますので、高速度廻転でも支障なく従って正確さと美しい削り肌を得ることが出来ます。

モデルに倣ってカッターを前後するオッシレイトイング部分が水平運動をしなければ、左右不同の製品が出来ます。本機は正確に水平運動をする機構になっていて、更にその各支点には密蔽型ボールベアリングを使用しておりますので磨耗による精度の低下は無く、非常に軽く振揺する事が出来ます。慣性を出来るだけ小さくする意味からオッシレイトイング部分は出来るだけ軽くし微妙な動きに対する則応性を高め従ってモデルに対する圧力も小さくしてモデルの寿命を増加することが出来ます。

すべての動的部分や磨擦部分は高級な硬鋼を使用し、完全な防塵ケースの中に入れて給油出来るようになっております。遮蔽出来ない二三の場所(例えば倣型盤のガイド)には自動的に適量だけ給油出来るようになっております。

カッターヘッドにはカッターを覆うカバーが着けられていて作業者を安全に守ります。機動によって動く部分には自動停止装置を付けて機体の安全をはかっております。

切削屑は機体上部のフレキシブルチューブを経て後方に排出されるようになっていて、外部の固定した集屑機と連結出来るようになっております。

仕 様 SPECIFICATION

		LPS-218A
最大加工寸法	Maximum work size	180φ×1050mm
カッター周速度	Peripheral velocity of cutter	40~50m/sec.
主軸回転数	Speed of workpieces stageles variable	10~40r.p.m
主軸一回転 当り送り量	仕 上 げ	Feed pitch finish
	荒 仕 上 げ	rough
総送り量	仕 上 削 り	Feed finish
	荒 削 り	rough
サンドベルト周速度	Peripheral velocity of sand belt	600mm/min
所要馬力	カッター用	Power for cutter
	サンデング用	for sander
	送 り 用	for feed
機械寸法(巾×長×高)	Size of machine	1100mm×2400mm×1580mm
機械正味重量	Net weight	1700 kgs.

MARUNAKA IRON WORKS CO., LTD.

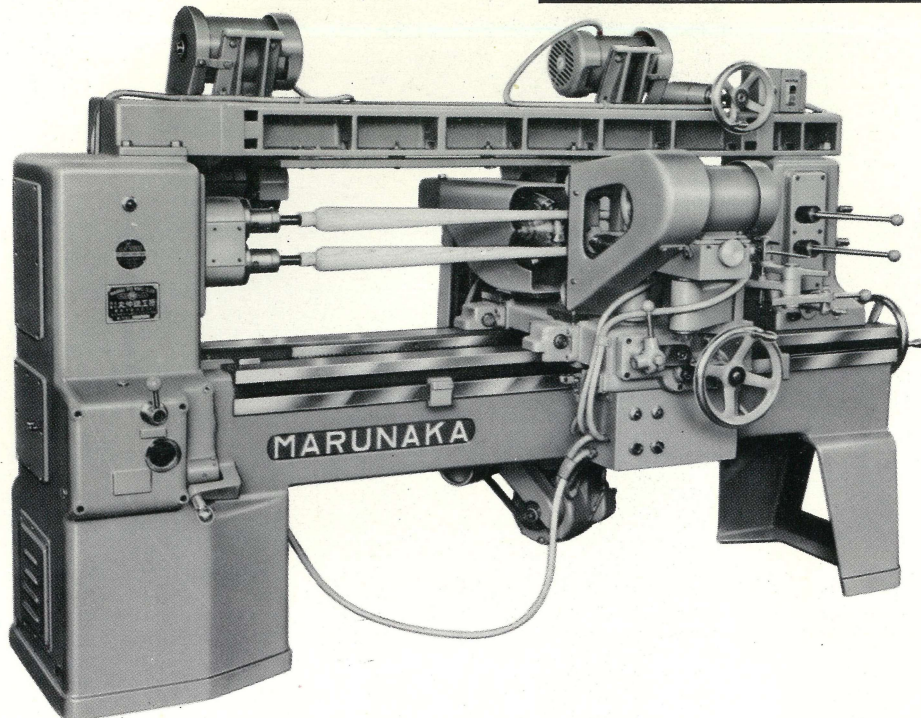
96, Wakamatsu-cho, Shizuoka, Japan.

TEL (Shizuoka) 52-0286 52-7127 52-7128

# 木工用 倣型旋盤

LPS-210B

LPS-218B サンディング付



本機は円形断面を持った製品を倣方式によって製作する機械で、木工旋盤で行うよりも均一正確に仕上り又一般倣型旋盤で行うよりも能率的で且つ正確であります。

更に加えて切削加工と同時にサンディング仕上を行いますので既存の機械に比し際立った特徴を有しております。

**用途** バット・テレビ脚・ボーリングピン等

**機構** 往復台上に設置されたカッター及びサンダーは機体上部に設置された型板に触れた各々の倣ローラーによって前後の位置を規制されながら往復台の移行に伴って横方向に進行して切削加工とサンディング仕上を行う機構になっております。その間素材は主軸によって適当な回転が与えられるので往復台の送り速度と関連して荒削りと仕上げ削りとに分けることが出来ます。

**特徴**

- ◎ 2本の素材を同時に切削加工します。LPS-210Bの場合は一つのカッターヘッドによって、LPS-218Bの場合は二つのカッターヘッドによって行います。
- ◎ 切削加工と同時にサンディング仕上を行うので二工程で行うに比較して時間と労力の節約は勿論の事、素材のセットに於ける位置のずれ、素材そのものの狂による悪影響を受けることがないので加工が非常に容易になります。
- ◎ 主軸の回転数は50~200r.p.m.の間で無段に変速することが出来ます。これは一般倣型旋盤の5倍に当りますので同時にサンディング加工を行う点と相俟って能率は一般倣型旋盤の10倍以上になります。
- ◎ 操作は機械の前方で簡単に行うことが出来る様に製作されて居りますので誰でも直に安全に作業出来、全く熟練を必要としません。
- ◎ 型(モデル)は堅木の平板で、従って型(モデル)の製作や修正は極めて簡単です。又細長い製品に対しても型(モデル)は丈夫に然も安定してセット出来ますので型(モデル)のしなりによる製品の形のくずれを生ずる事は絶対にありません。
- ◎ 局部的に細かい成形を必要とする場合にはアタッチメントを設備する事が出来ます。
- ◎ 主軸間隔によってLPS-210B、LPS-218Bに分かれます。

■ 仕様

		LPS-210B	LPS-218B
最大加工寸法	Maximum work size	100φ×1050mm	180φ×1050mm
カッター周速度	Peripheral velocity of cutter	50m/sec.	40~50m/sec.
主軸回転数	Speed of workpieces stages variable	50~200r.p.m	50~200r.p.m
送り量	仕上げ	Feed pitch finish	1.4-2.1-2.8mm
	荒仕上げ	rough	5.6-8.4-11.2mm
総送り量	仕上げ削り	Feed measurement/min finish	70~560mm
	荒削り	rough	280~2240mm
サンドベルト周速度	Peripheral velocity of sand belt	600m/min	600m/min
所要馬力	カッター用	Power for cutter	2P-2.2kw
	サンディング用	for sander	4P-0.75kw
	送り用	for feed	4P-0.75kw
機械寸法(巾×長×高)	Size of machine(W×L×H)	1100mm×2400mm×1500mm	1100mm×2400mm×1580mm
機械重量 approx.	Net weight	1700 kgs.	1800 kgs.

## 株式会社 丸仲鐵工所